

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 環境調和型病害防除法を実現する微生物叢人工制御基礎研究

2. 個人研究者名

西岡 友樹（産業技術総合研究所生物プロセス研究部門 産総研特別研究員）

3. 事後評価結果

本 ACT-X 研究は、化学農薬に依存しない病害防御法を開発しようとする研究である。土壌中の微生物菌叢を人工的に制御する方法を開発することを目的にしている。その中で、土壌微生物叢の制御ポテンシャルを有すると想定した微生物群（微生物叢制御微生物候補）を利用しようという意欲的なアプローチである。研究開始時には、培養、単離の系の構築に苦労したが、そこをブレークスルーすることで微生物叢制御微生物候補を単離できるようになった。系統的に非常に新規性の高い微生物の同定に成功し、土壌病害に対しても抑制効果が期待されるような微生物を同定している。

これらは、当該研究における世界でも第一人者になれるような成果と言える。今後、応用面のみならず、制御メカニズムの解明も期待される。本研究成果を中心として多くの新たなテーマが生まれてきている。ACT-X としてより大きなネットワークを構築し、本分野の基盤を創っていただきたい。ACT-X らしい素晴らしい展開をしており、今後も期待している。